

# 森下さち子ニュース

## 2月定例議会報告

2月27日に開会された2月定例市議会は3月25日に市長から提案された議案や意見書などすべてが可決されました。

日本共産党市会議員団は提案された88件のうち77件には賛成しましたが、スカイタウンつつじヶ丘に関わる6億円もの一般会計からの繰り入れや高いことを認めつつも保険料が引き下げられない国民健康保険制特別会計など、問題点があると思われる11件には反対しました。

## 今年も計上された旧同和事業予算

旧同和对策事業が今年度も継続されています。隣保館（文化会館）における付属機関委員報

（会館）における付属機関委員報酬、住宅2課にしかない住宅減免制度やエレベーター管理人報償金、地域子ども会活動支援交付金など地域を限定した特別対策は、他の事業との整合性に著しく欠けています。特別対策は終了し、住宅にかかわる減免制度などは基準を決め、全市民を対象にしたものにするべきです。

## やっと完成した大滝ダム これからは減価償却費としての支出が増大

1972年（昭和47年）に計画されて以来、実に40年以上をかけて建設された大滝ダムがやっとこの4月、竣工となりました。

## 議員団は今年度もがんばります!

春の嵐を何度も通過したものの、一気に春とはならず、ジェットコースターのような日替わりの気温が続いています。服装や布団の厚さ、毛布をしまうかどうか…毎年この季節になると悩みます。さらに、やっと花粉のピークは越えたとのことですが、相変わらずくしゃみ、鼻水にも悩まされている今日この頃。みなさんはいかがお過ごしでしょうか。

それでも春は出会いの季節でもあります。新しいクラス、職場など人間関係も広がるチャンスです。新たな気持ちで議員団は今年度もがんばります。



『多目的ダム法』という法律に基づいて和歌山市は水利権を得るためにこの事業に参画しましたが、国は途中で何度も事業を見直した結果、事業費はどんどん膨らみ当初の計画と比較すると1.6倍近いものとなりました。

負担金という形での市の支出はダムの完成によって終わりますが、今度のは『無形固定資産減価償却費』という形での支出に変わり、新たな負担となります。加えて借金でまかなってきた建設費用の返済、今後の維持管理費などもかかってきます。

## 議員提案の政策条例が制定されました

『和歌山市みんなできとくむ災害対策基本条例』が、38名全議員の提案で可決され、この4月1日から施行されています。この条例はまず学習会に取り組み、各会派の代表による議員で協議会を立ち上げ1年をかけて策定しました。

条例を作った目的は、阪神・淡路大震災、東日本大震災、紀伊半島における台風12号による豪雨など大規模な災害が多発していることから、災害に対処するため市民・地域・行政のなすべき役割を改めて認識し取り組むというところにあります。災害に強いまちづくりのためにもそれぞれの立場でこの条例が活かされるようにと願っています。

## こんにちは！ 藤井健太郎です



4月6日、和歌山市の勤労者総合センターで高槻市福祉事務所ケースワーカーの高田氏を招

き『憲法25条と生活保護』の学習会を開きました。当日は荒れ模様ですが、どうなることかと心配しましたが、あちこち呼びかけた甲斐もあって、70名近くの参加がありました。内容も姫田市議、民医連藤沢事務局長、生活と健康を守る会中山氏からの発言や参加者からの生活保護改悪反対署名を集めようと呼びかけがあるなど充実したものとなり、これからの運動の励みにもなりました。高田氏の話の中で生活保護行政に携わっている職員（常勤、非常勤、有期雇用など様々な雇用形態になっている）の思いや苦悩も様々あることが出され、和歌山市のケースワーカーのみなさんほどのような思いで生活保護行政に取り組んでいるのか気になるところでもありました。国民から見ればケースワーカーには福祉の専門家として、保護行政の知識や実務能力だけでなく国民の生存権とその保障制度を高めていく努力も求められているのです。

前県議員 ふじい健太郎

参議院和歌山選挙区予定候補者の原やすひささんが、精力的に紀伊半島をかけめぐり、各地で様々な活動を行っています。写真をまじえ行動の一部をご紹介します。

ブログ「紀伊半島 原やすひさ」より

<http://kiihanto.exblog.jp/>

4/5 → 和歌山市内での宣伝行動で「日銀はバクチを打つようなことをせんと、もっと地に足を付けて国民の暮らしを真剣に考えて仕事をしろ」と、半ば怒りをこめ訴えた。



4/8 和歌山市、海南市に入っ  
た山下よしき書記局長代行・参  
議院議員に同行し、県やふたつ  
の市から説明を受け、現場を訪  
ねて関係者のみなさんから話を  
聞いた。



原、山下議員、松坂県議の力強いガッツポーズ



←3/16 有田市での党綱領の学習会で講師を務める。

# 日本共産党 原 やすひさ です



福島原発の高濃度の放射能汚染水が地下貯水槽からだだ漏れしていた。7日には別の貯水槽からも漏れ出していたことが発覚した。汚染水は毎日400トンずつ増えつづけていて、それをタンクに溜めている。気になるのはそのだだ漏れ汚染水の行方だ。東電は「海洋への流出はない」というが、これを真にうける人がいまの日本にいらっしゃるのか。

東電は建屋内に地下水が入らないようにと、井戸を12本も掘っている。実際には大量の高濃度汚染水が地下水に流入していたことになる。汚染水がいったん地下水に入ってしまうと放射性物質の除去はできないし、当然、海にも流れ出す。放射性物質を環境中に出さないことが最優先なのに、政府と東電は最悪のことをやっていたわけだ。汚染水ひとつまもに処理できない人たちが国の舵をとり、原発の「再稼働」を口にしてはいる。

(2013.4.13)

3/22 新宮市・関西電力前の「原発反対」行動に参加。それに先立って、商店街を訪問し、対話や懇談をして歩いた。



## 日本共産党演説会 5月20日(月) 午後7時～

ダイワロイネットホテル

山下よしき参議院議員と原やすひさ党県副委員長がお話しします

5月の風にWe Love憲法  
5月11日(土)午後1時～  
フラザホール4F



講演 『領土問題と憲法9条』

— 国際紛争の平和的解決のために —

講師 孫崎享 氏

主催：憲法9条を守るわかやま県民の会



5月より毎月1回森下さち子事務所にて弁護士による無料法律相談を始めます。(予約制)

【第1回相談日】

5月22日(水) 13:00～20:00

☆予約は電話にてお受けします (9:30～17:00)

市議団控え室 435-1113 (森下まで)



4月からNHKの新しい朝ドラ「あまちゃん」が始まりました。岩手が舞台の海女さんの物語です。軽快なテーマソングと岩手訛りにインパクトがあり、かつ温かい。岩手の人々は驚いたときに「じゃえじゃえ」と言うらしく、これが最近の私のお気に入り(笑)でひんぱんに使っています。

京へ飛び出した母、東京の高校になじめなくて夏休みに母の故郷である岩手に来て海女さん修行をする娘アキの3人がそれぞれにどういう出会いや関わりを経験していくのか、これからが楽しみです。

岩手といえば東日本大震災による甚大な被害のあったところでもあり、そういう意味でも岩手がどのように描かれるのか注目していきたいところです。

